

25
下
聖徒伝 184

「今は恵みの時 救いの日」

イザヤ書49～50章

主のしもべの歌 3・4

アウトライン

0. イントロダクション

I. 贖われたイスラエル

49章

II. イスラエルの罪・メシアの受難

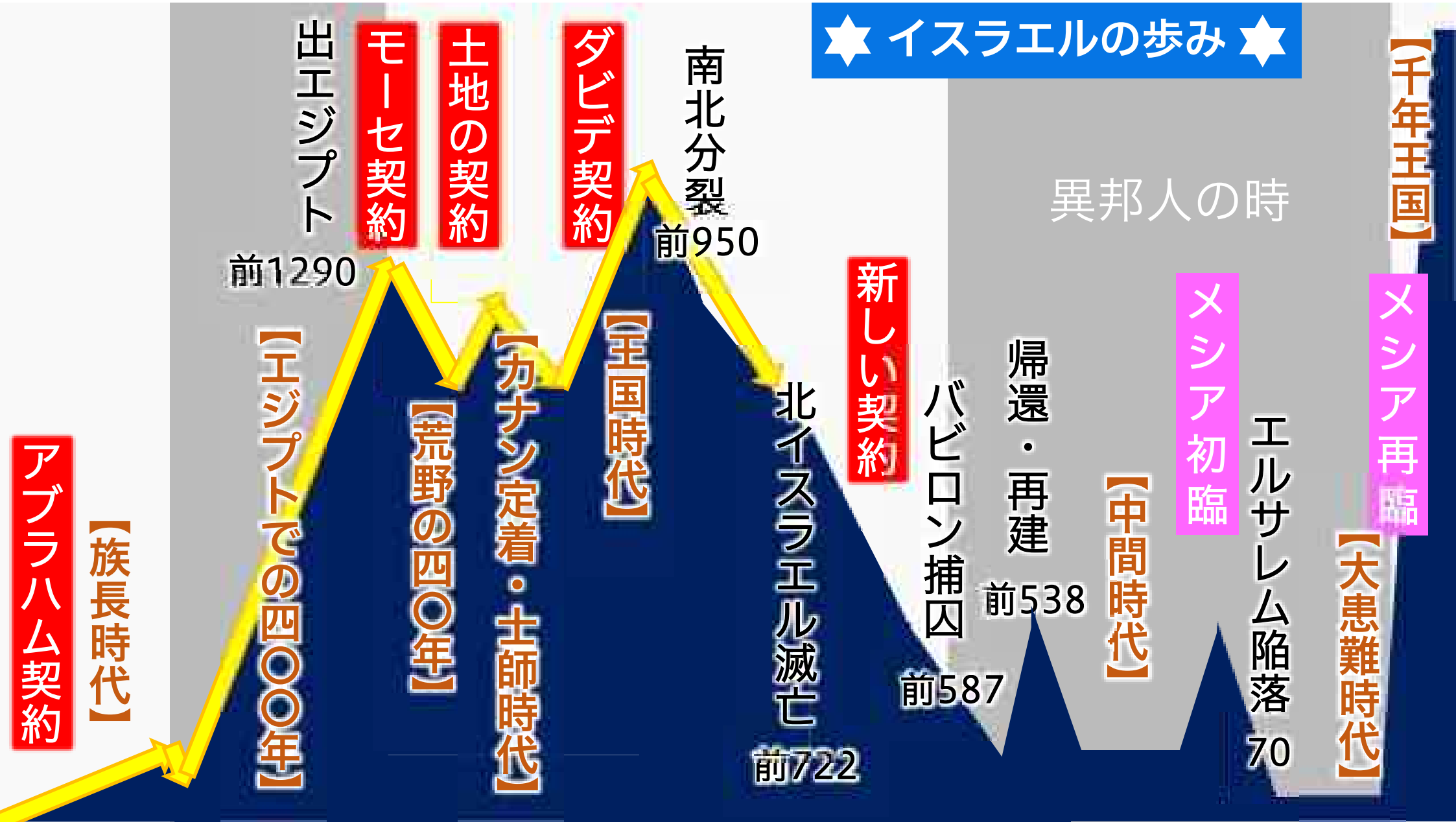
50章

III. まとめと適用

主のしもべに永遠に所有された
神のしもべとして歩もう



★ イスラエルの歩み ★



アブラハム契約

【族長時代】

【エジプトでの四〇〇年】

出エジプト

前1290

モーセ契約

【荒野の四〇年】

土地の契約

【カナン定着・士師時代】

ダビデ契約

【王国時代】

南北分裂

前950

北イスラエル滅亡

前722

新しい契約

バビロン捕囚

前587

帰還・再建

前538

【中間時代】

メシア初臨

エルサレム陥落

70

【大患難時代】

メシア再臨

【千年王国】

異邦人の時

イザヤ書の構成 と イザヤの生涯

前半

■北王国は滅亡。南王国も危機に。

→確定している裁き・バビロン捕囚

裁きの警告

後半

■晩年のイザヤが告げたのは、捕囚を前提とした、解放の希望。

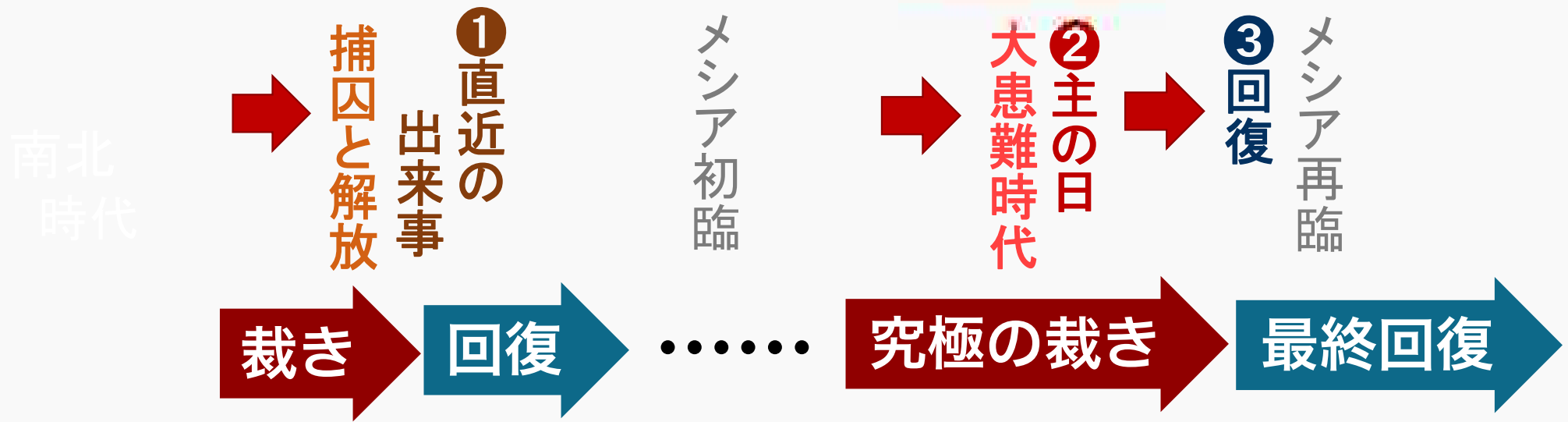
→究極の希望が、メシアによる神の王国

回復の希望

預言書の構成 混在する二つの要素



- ① 近い将来の 一時的な裁きと 一時的な回復
- ② 世の終わりの 最後の裁きと 最終的な回復



預言はフラクタルでシームレス

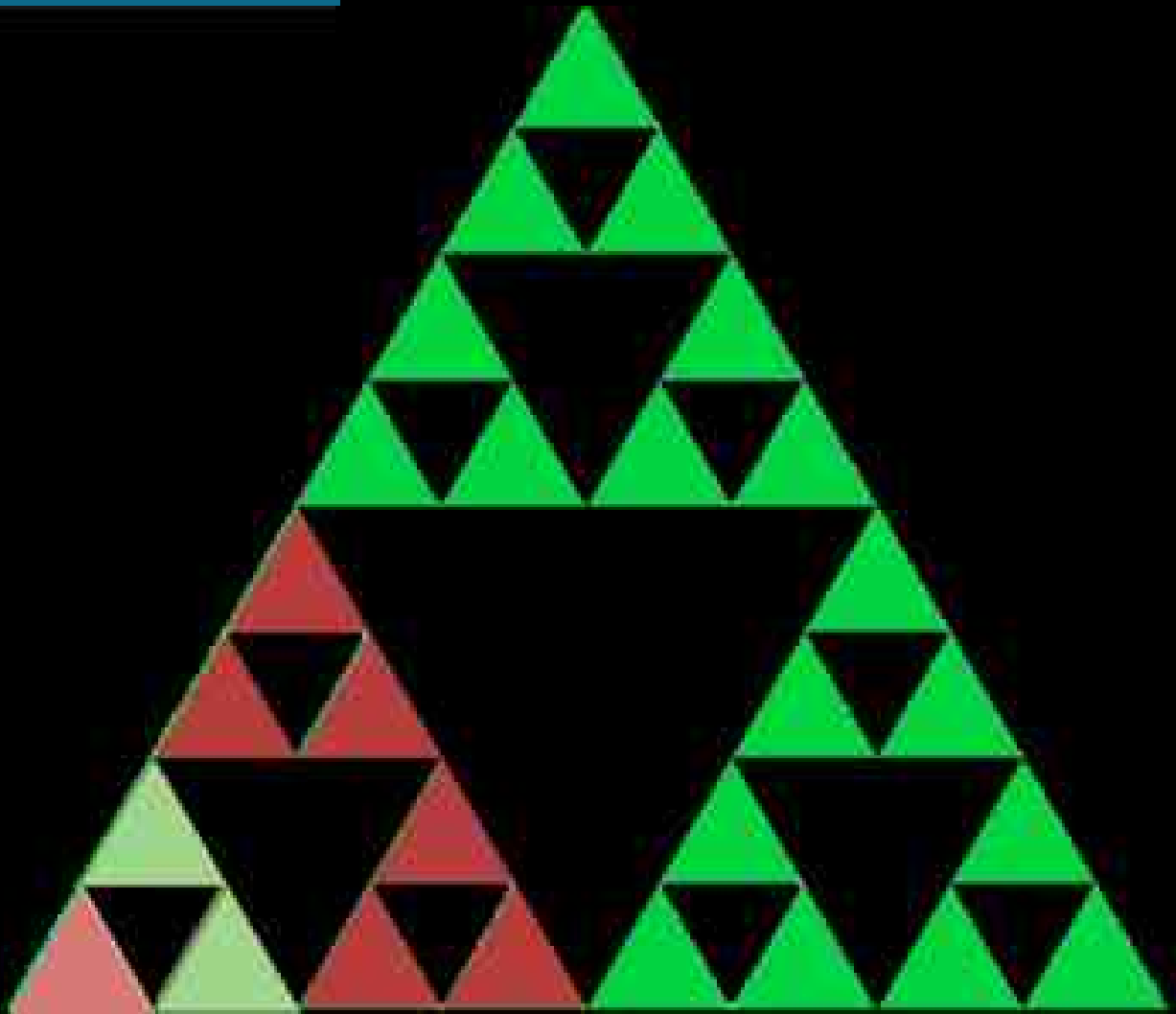
小の中に大 大の中に小

最終的回復 →

最後の裁き →

一時的回復 →

一時的裁き →



イザヤ書後半の構成

- ① 40～48章 イスラエルの戦いの終わり
→バビロン捕囚からの解放

メシアの影
ペルシャ王キュロス

- ② 49～57章 イスラエルの咎の赦し
→イスラエルの最終的救い

メシア

- ③ 59～66章 イスラエルが受けた罪の代価

後半の中心が、イスラエルを贖うメシア



1. 贖われたイスラエル

イザヤ書49章

イスラエル・雨期の荒野の羊

回復 メシア イザヤ49:1~2

島々よ、私*に聞け。遠い国々の民よ、耳を傾けよ。【主】は、生まれる前から私*を召し、母の胎内にいたときから私の名*を呼ばれた。

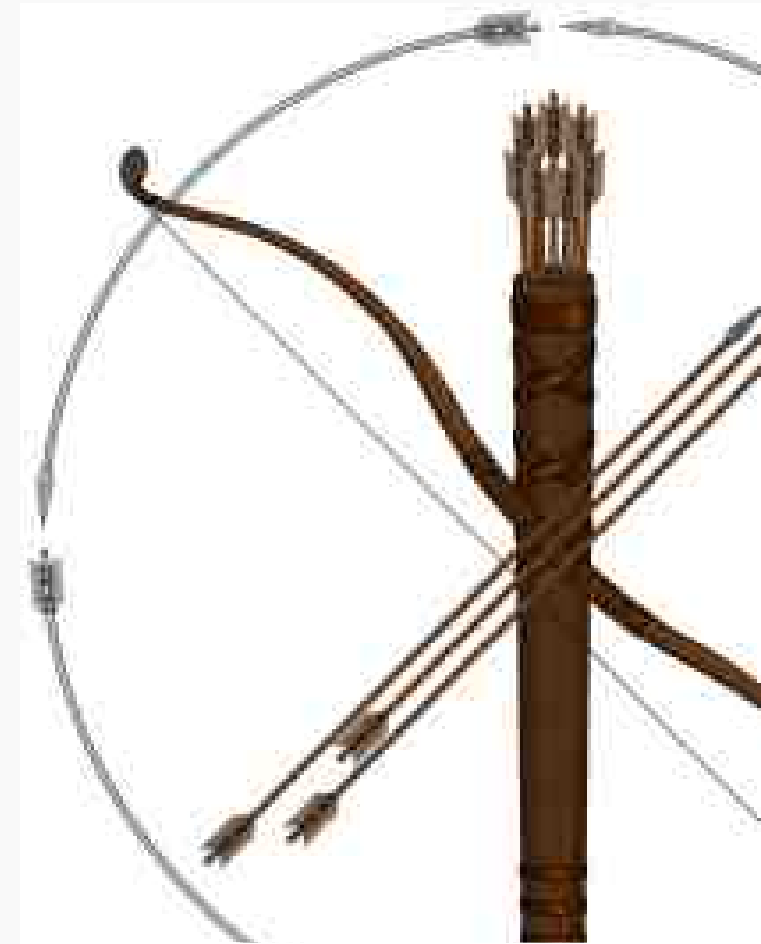
主は私*の口を鋭い剣*のようにし、御手の陰に私をかくまい、私を研ぎ澄まされた矢*とし、主の矢筒の中に私*を隠された。

*異邦人 *メシア・受肉前のキリスト

*「インマヌエル(主が共におられる)」(7:14)

*裁き主なる栄光のメシア。(黙19:16他)

→地上生涯では隠された



預言者個人を
超越した宣言が!!

回復 しもベイスラエル イザヤ49:3~4


そして、私に言われた。「あなたはわたしのしもべ。イスラエル*よ、わたしはあなたのうちに、わたしの栄光を現す。」

しかし私は言った。「私は無駄な骨折りをして、いたずらに空しく自分の力を使い果たした*。それでも、私の正しい訴えは【主】とともにあり、私の報いは私の神とともにある」

*メシアこそ、神のしもべ・真のイスラエル

*地上でのメシアの受難

➔受難そのものは、理不尽と不条理の極み



メシアは常に
主と共におられた

回復 メシアの使命 イザヤ49:5

今、【主】は言われる。ヤコブをご自分のもとに帰らせ*、イスラエルをご自分のもとに集めるために*、母の胎内で*私をご自分のしもべとして形造った方が言われる。私は【主】の御目に重んじられ、私の神は私の力となられた*。

- *イスラエルを回心に導く
- *イスラエルの約束の地への帰還
- *メシア誕生預言に父親への言及なし
- *聖霊が常にメシアと共に働かれた

メシアは主のしもべ

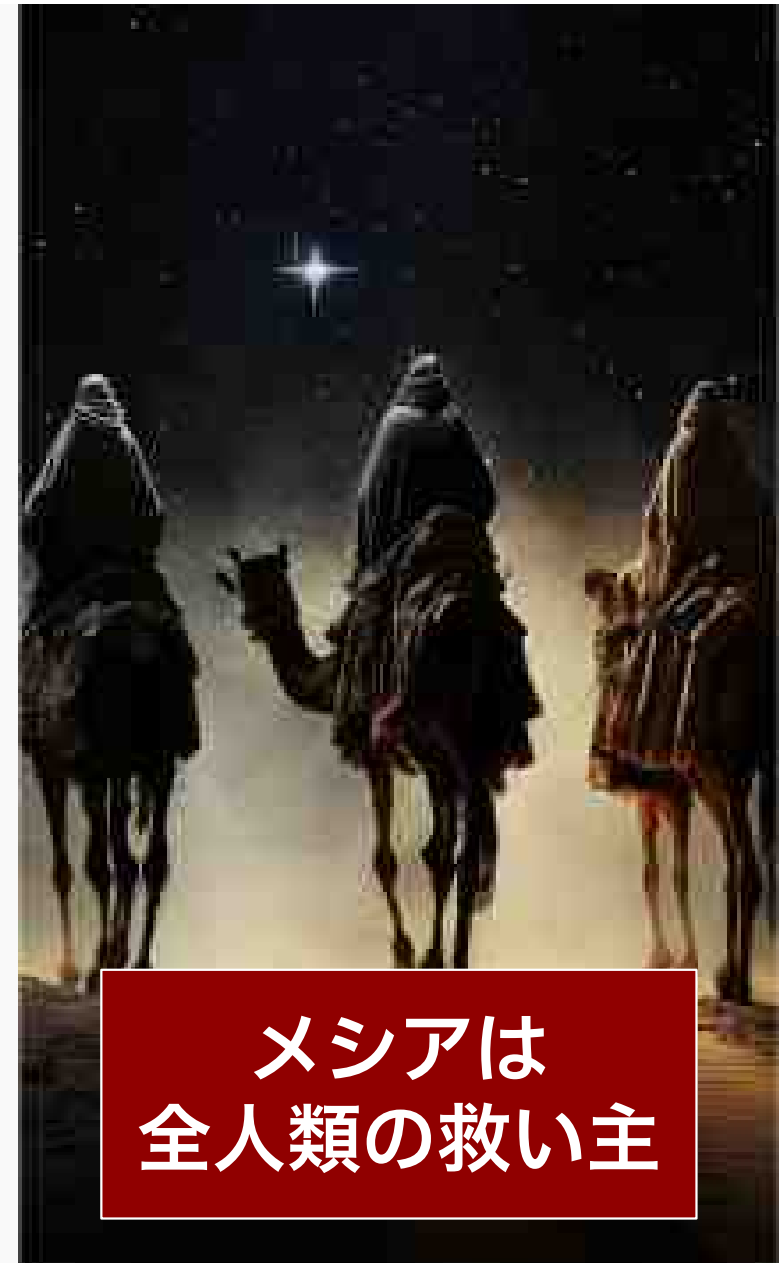


回復 主のしもべの使命 イザヤ49:6

主は言われる。「あなたが**わたしのしもべ**であるのは、ヤコブの諸部族を立たせ、イスラエルのうちの残されている者たちを帰らせるという、小さなことのためだけではない。わたしはあなたを**国々***の光とし、**地の果て***にまでわたしの救いをもたらす者とする。」

*異邦人、異邦人世界

■**メシア**の使命は、**①**イスラエルを贖い、**②**異邦人をも救いに導くこと。



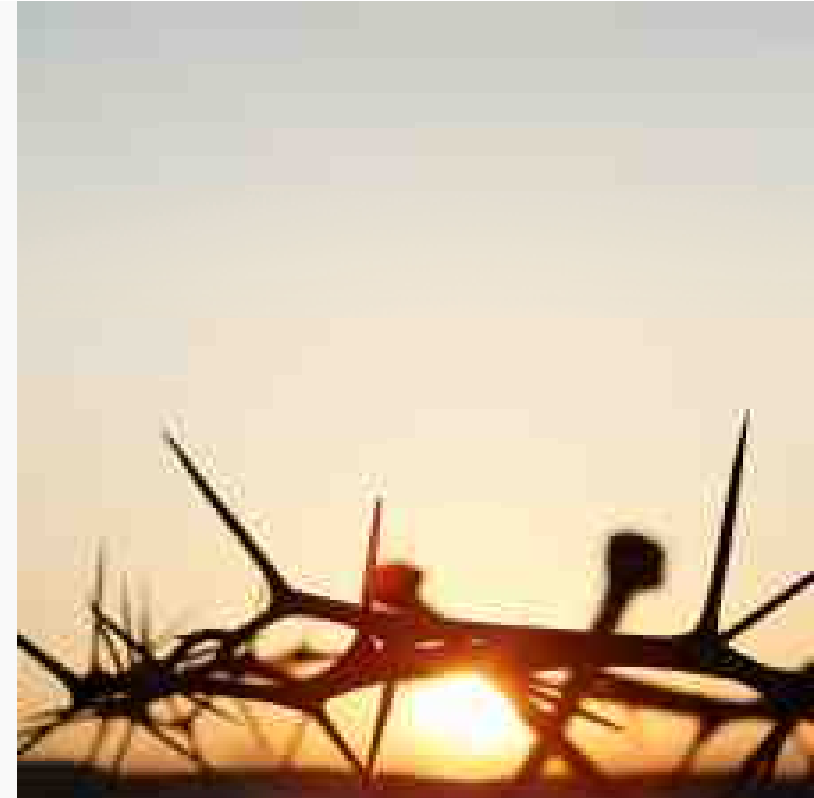
メシアは
全人類の救い主

回復 受難の僕 イザヤ49:7

イスラエルを贖う方、その聖なる方、
【主】は、人に蔑まれている者*、国民に忌み嫌われている者*に、支配者たちの奴隷*に向かってこう言われる。「王たちは見て立ち上がり、首長たちもひれ伏す。真実である【主】、あなた*を選んだイスラエルの聖なる者のゆえに。」

*受難の僕・メシアの姿

■ 神は、メシアの受難により民を贖い、
栄光の再臨のメシアが、王の王となる。



辱めの極みから
栄光へ

回復 恵みの時・救いの日 イザヤ49:8

【主】はこう言われる。「恵みの時*に、わたしはあなたに答え、救いの日*に、わたしはあなたを助ける。わたしはあなたを見守り、あなたを民の契約*とし、国を復興して、荒れ果てたゆずりの地を受け継がせる。」

*今の教会時代が、その時。(II コリ6:2)

この時代の最後、イスラエルは民族的回心へ

*メシアこそ、あらゆる神の契約の中心

■恵みの時 = 救いの日 = 主の日(メシア再臨)

➔メシアの完全な栄光の回復が、恵み、救い



回復 嗣業の地の回復 イザヤ49:9~10

わたしは捕らわれ人*には『出よ』言い、闇の中にいる者*には『姿を現せ』と言う。彼ら*は道すがら羊を飼い、裸の丘のいたるところが彼らの牧場となる。

彼らは飢えず、渴かず、炎熱も太陽も彼らを打たない*。彼らをあわれむ者*が彼ら*を導き、湧き出る水のほとりに連れて行くからだ。

*イスラエルの残れる信仰者たち

*大患難時代の殉教者への呼びかけ(黙7:16)

*イスラエルの真の牧者であるメシア



回復 帰還の道 イザヤ49:11~12

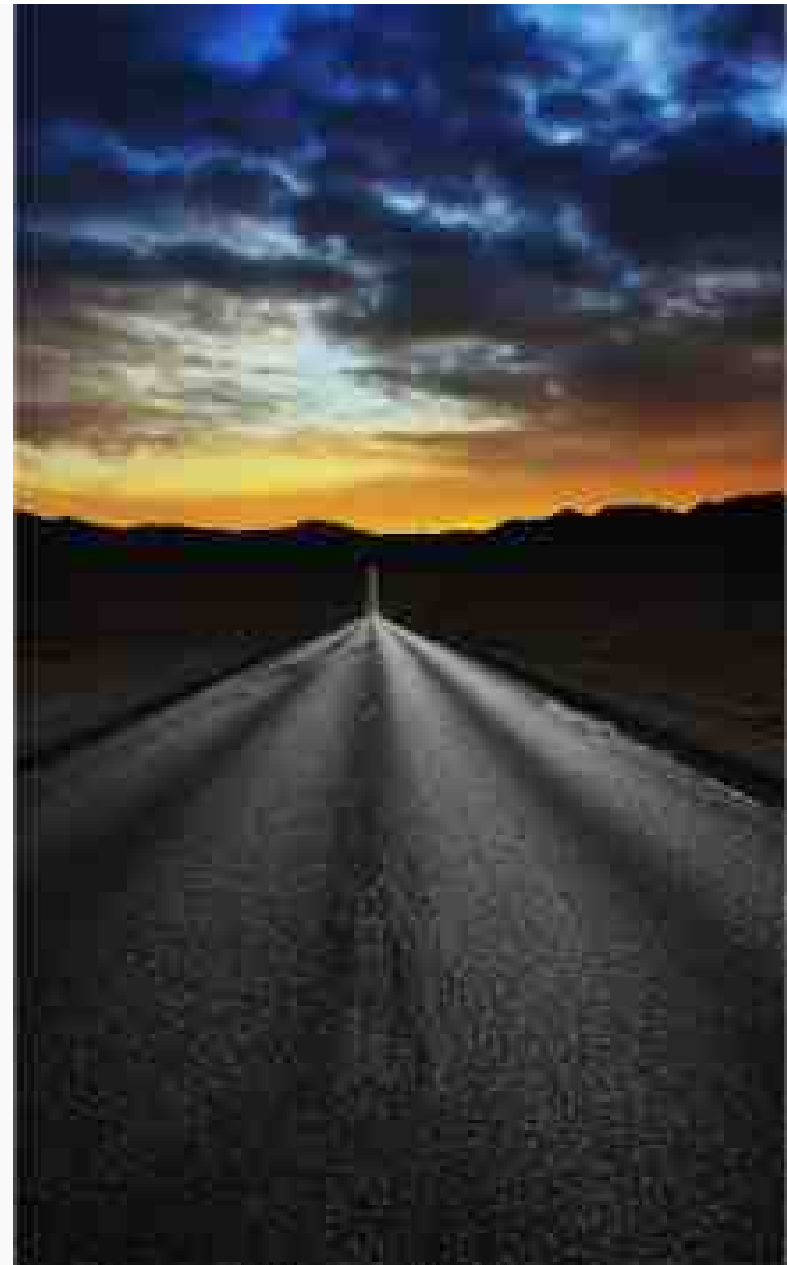
わたしは、わたしの山々をすべて道とし、
わたしの大路を高くする*。

見よ。ある者は遠くから来る。見よ。ある者は北から西から、また、ある者はシニム*の地から来る。」

*千年王国の激変した地形。

*ここだけ。“茨の地” …東、南の荒野か？

■世界中から帰還してくるイスラエルの民。



回復 喜びの声 イザヤ49:13~14

天よ、喜びの声をあげよ。地よ、小躍りせよ。山々よ、歡喜の声をあげよ。【主】がご自分の民を慰め、その苦しむ者をあわれまれるからだ。

しかし、シオン*は言った。「【主】は私を見捨てた。主は私を忘れた」と。

*エルサレムの呼称の一つ

…擬人化して語られるエルサレムの都。

■将来の回復は約束されているが、
苦難の中で今も嘆き続けるイスラエル



回復 神は忘れない イザヤ49:15～16

「女が自分の乳飲み子を忘れるだろうか。自分の胎の子をあわれまないだろうか。たとえ女たちが忘れても、このわたしは、あなた*を忘れない。

見よ、わたしは手のひらにあなたを刻んだ。あなた*の城壁は、いつもわたしの前にある。

*エルサレム

■エルサレムの民が主を忘れても、
主は決して忘れることはない!!



回復 イスラエルの帰還 イザヤ49:17~18

あなたの子どもたち*は急いでやって来る。
あなたを破壊し、廃墟とした者たちは、あなたのところから出て行く。

目を上げて、あたりを見回せ。彼ら*はみな集まって、あなたのところに来る。わたしは生きている——【主】のことば——。あなたは必ず、彼ら*をみな飾り物として身に着け、花嫁のように彼らを帯に結ぶ。

*エルサレムに帰還するイスラエルの民

➡エルサレムは、帰還民によって飾られる。



回復 エルサレムの繁栄 イザヤ49:19～20

あなた*の廃墟と荒れ跡と滅びた地は、今に、住むには狭すぎるようになり、あなた*を呑み込んだ者たちは遠くへ離れ去る。

あなたが子を失った後*に生まれた子らが、再びあなたの耳に言う。『この場所は私には狭すぎる。私が住めるように場所を広くしてください』と。

*エルサレムが苦難から回復された後

■新天新地のエルサレム*は、広大な都に!!

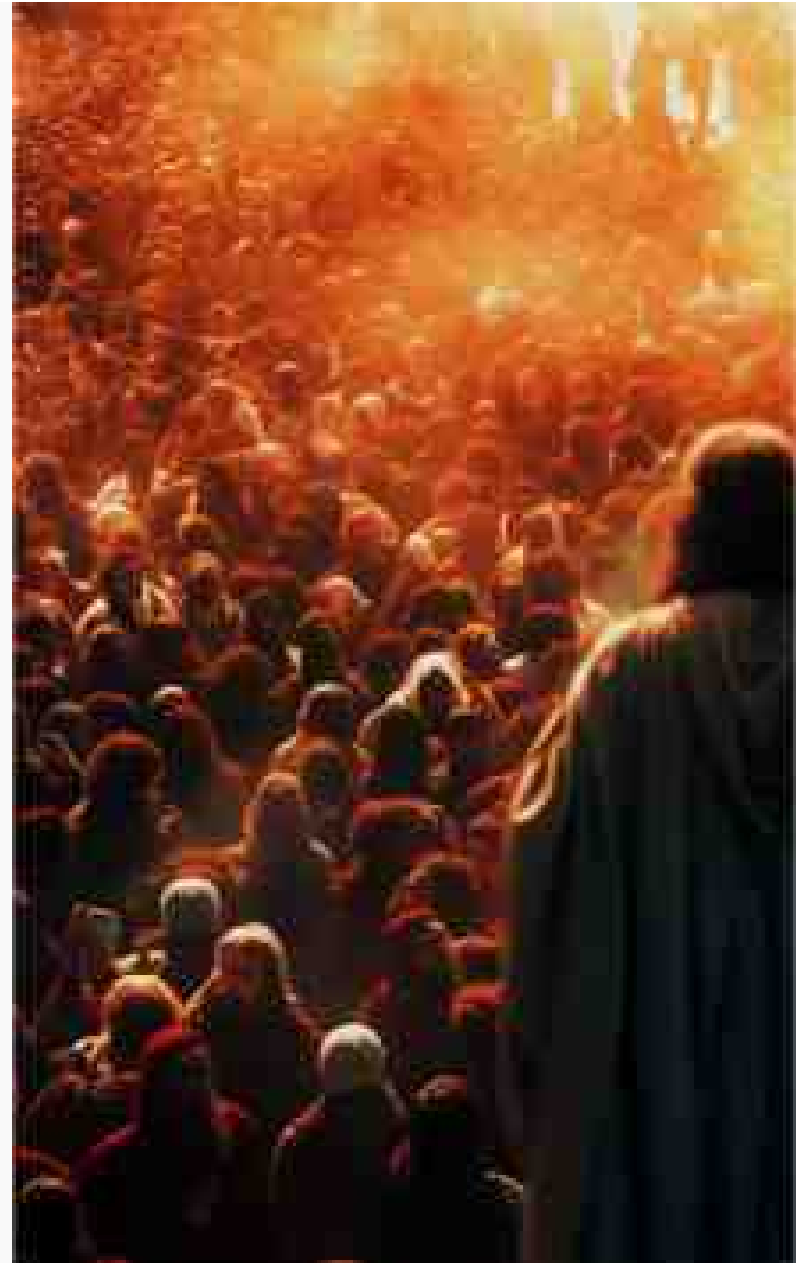


回復 大勢の帰還民 イザヤ49:21

そのとき、あなた*は心の中で言うだろう。
『だれが私に、この者たちを産んでくれたの
だろう。私は子に死なれた女、子を産めない
女、捕囚のさすらい人であったのに。だれが
この者たちを育てたのだろう。私は、ただひ
とり残されていたのに、この者たちはどこか
から来たのだろう。』』

■ 予想もしなかった数のイスラエルの民が
回復されたエルサレム*に帰還してくる。

➔ 主が民を養い、回復される



回復 異邦人の回心者たち イザヤ49:22

【神】である主はこう言われる。「見よ。わたしは国々*に向かって手を上げ、わたしの旗を諸国の民*に向かって掲げる。彼ら*は、あなたの息子たちを懐に抱いて来る。あなたの娘たちは肩に担がれて来る。

*大患難時代、イスラエルを保護した異邦人。

➡メシアの裁きで羊とヤギに選り分けられ、
イスラエルと共に神の国に招き入れられる



回復 しもべとなる異邦人 イザヤ49:23

王たちはあなたの世話をする者となり、王妃たちはあなた*の乳母となる。彼らは顔を地に付けて、あなた*を伏し拝み、あなた*の足のちりをなめる。あなた*は、わたしが【主】であることを知る。わたしを待ち望む者は恥を見ることがない*。」

*千年王国の都エルサレム

*主に見捨てられることがない

■すべての民が、栄光のメシアがおられるエルサレムを礼拝し、奉仕する。



回復 主が奪還される イザヤ49:24～25

奪われた物を勇士から取り戻せるだろうか。捕らわれ人を横暴な者から救い出せるだろうか。

まことに、【主】はこう言われる。「捕らわれ人は勇士から取り戻され、奪われた物も横暴な者から奪い返される。あなた*が争う者と、このわたしが争い、あなたの子ら*を、このわたしが救う。

- 大患難時代、エルサレム*は反キリストの軍に占拠されるが、メシアが完全に奪還し、イスラエルの残れる者*は救われる。



回復 メシアによる裁き イザヤ9:26

わたしは、あなた*を虐げる者に彼ら自身の肉を食らわせる。彼らは甘いぶどう酒に酔うように、自分自身の血に酔う。すべての肉なる者が、わたしが【主】、あなたの救い主、あなたの贖い主、ヤコブの力強き者であることを知る。」

■エルサレム*を苦しめた反キリストの軍勢へのメシアによる厳しい裁き(黙19章)

主の日、三位一体の神が絶対的に顕現





II. イスラエルの罪・メシアの受難

イザヤ書50章

エルサレム陥落 David Roberts 1850

裁き イスラエルの咎と背き イザヤ50:1

【主】はこう言われる。「わたしがあなたがたの母を追い出したという離縁状はどこにあるのか。わたしがあなたがたを売ったという、わたしの債権者とはだれなのか。見よ。あなたがたは自分たちの咎*のために売られ、自分たちの背き*のために、母は追い出されたのだ。」

*イスラエルの偶像礼拝の罪

→バビロン捕囚と長い流浪を招いた。

苦難を招いたのはイスラエル自身の罪



裁き 主の呼びかけ イザヤ50:2～3

なぜ、わたしが来たときだれもいなかったのか。わたしが呼んだのに、だれも答えなかったのか。わたしの手が短くて贖うことができないのか。わたしには救い出す力がないというのか。見よ。わたしは叱って海を干上がらせ、多くの川を荒野とする。その魚は水がなくて臭くなり、渇きのために死に絶える。わたしは天を闇でおおい、粗布*をその覆いとする」

*嘆き、悲しみの象徴

■主を拒み、苦難を招いたのは、イスラエル自身。

→主は、常に呼びかけ続けておられた。



回復 主のしもべ イザヤ50:4～6

【神】である主は、私*に弟子の舌*を与え、疲れた者をことばで励ますことを教え、朝ごとに私*を呼び覚まし、私*の耳を呼び覚まして、私*が弟子*として聞くようにされる。

【神】である主は私*の耳を開いてくださった。私*は逆らわず、うしろに退きもせず、打つ者に背中を任せ、ひげを抜く*者に頬を任せ、侮辱されても、唾をかけられても、顔を隠さなかった*。

*メシアは主に従順に仕えた *侮辱の極み

*隠すものはない。メシアに罪はなかった。

■へりくだりの極みを通過されたメシア*



回復 復活の栄光へ イザヤ50:7~8

しかし、【神】である主は私を助けてくださる。それゆえ、私は侮辱されることがない。それゆえ、私は顔を火打石のようにして*自分が恥を見ないことを知っている。

私を義とする方が近くにいてくださる。だれが私と争うのか。さあ、ともに立とう。だれが私をさばく者となるのか。私のところに出て来るがよい。

*罪なきメシアの確信に満ちた様子

■辱めを経て、栄光の体で回復されたメシア。

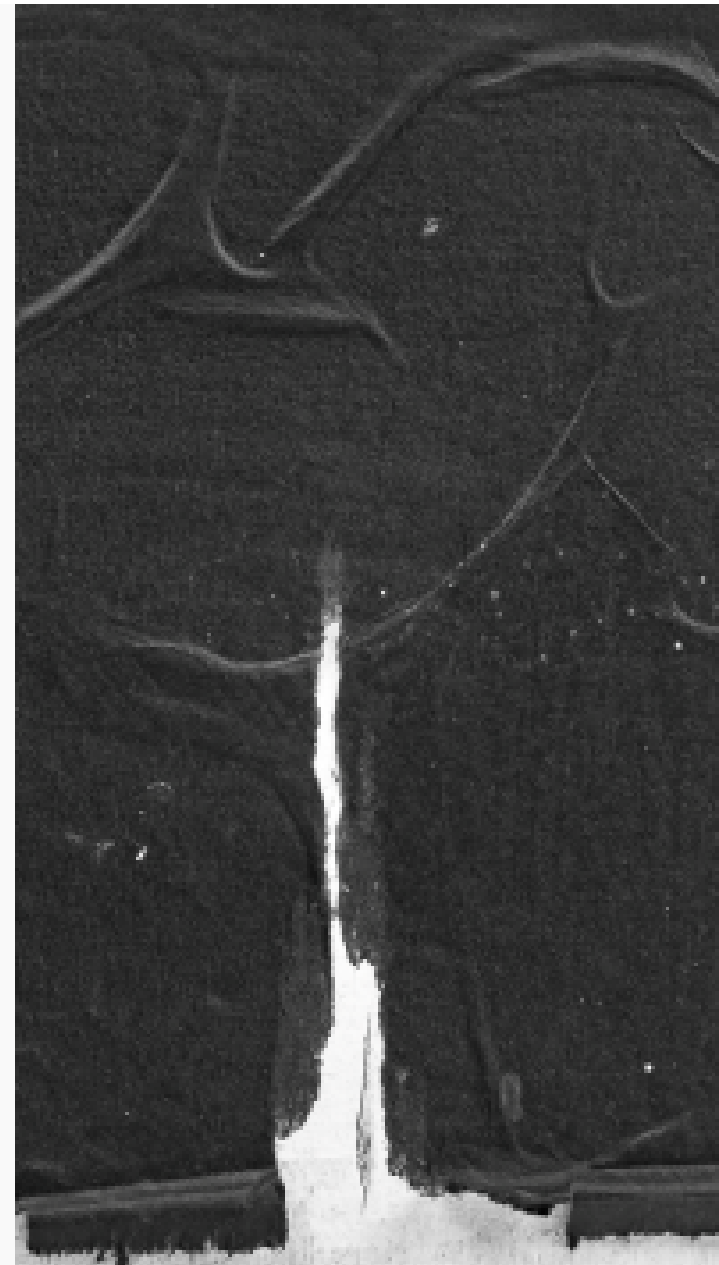
→裁き主なるメシアに逆らえる者はいない。



回復 神の義 イザヤ50:9

見よ。【神】である主が私を助けてくださる。
だれが私を不義に定めるのか。見よ。彼ら*は
みな衣のように古び、シミが彼らを食い尽くす。

*メシアを不義に定める者



宣告 主の御名 イザヤ50:10

あなたがたのうちで【主】を恐れ、主のしもべの声に聞き従う*のはだれか。闇の中を歩くのに光*を持たない人は、【主】の御名*に信頼し、自分の神*に拠り頼め。

*“主を恐れる”

= “主のしもべの声に聴き従う”

*“光” → “主の御名、神ご自身”

主のしもべは、従うべき神ご自身



宣告 身を焦がす火 イザヤ50:11

見よ。あなたがたはみな、火*をともし、燃えさし*を身に帯びている。あなたがたは自分たちの火*の明かりを持ち、火*をつけた燃えさし*を持って歩くがよい。このことは、わたしの手によってあなたがたに起こり、あなたがたは苦悶の場所で伏し倒れる。

*神の光とは別物。“異なる火(民3:4)”

➔アロンの息子たちは、主の定めとは“異なる火”を捧げ、主の前で死んだ。





Ⅲ. まとめと適用

主のしもべに永遠に所有された
神の僕として歩もう

イスラエルの荒野を行く羊の群れ

イザヤ書：主のしもべの歌

- ① 42:1～9 …主の僕は、人となってへりくだり(受肉)
み教えにより、神の義を打ち立てる。
- ② 49:1～13 …主の僕の栄光は、神によって隠される(受肉)
主の僕は、イスラエルと異邦人に救いをもたらす。
- ③ 50:1～11 …主の僕は、罪なき身で苦しめられる(受難)
主の僕は、栄光の王として裁きをくだされる。
- ④ 52:13～53:12 …主の僕は、人々の罪のために苦しみ(受難)
使命を果たされた後に天に挙げられる(栄光)

主のしもべの使命

- メシアは、**主のしもべ**として、受肉し、地上に生み出された。
- メシアは、**主のしもべ**として、主に第一に従われた。
- メシアが受けられた辱め、苦難は、**主のしもべ**の使命の極み。
主に従うゆえ、神の怒りの杯を飲み干され、父から断絶された。
- **主のしもべ**は、十字架の死と葬りを経て、栄光の姿で復活された。
天に昇られ、栄光の王・裁き主として再び来られる。

しもべとなられたイエス・キリスト

キリストは、神の御姿であられるのに、神としてのあり方を捨てられないとは考えず、ご自分を空しくして、しもべの姿をとり、人間と同じようになられました。人としての姿をもって現れ、自らを低くして、死にまで、それも十字架の死にまで従われました。

それゆえ神は、この方を高く上げて、すべての名にまさる名を与えられました。

それは、イエスの名によって、天にあるもの、地にあるもの、地の下にあるもののすべてが膝をかがめ、すべての舌が「イエス・キリストは主です」と告白して、父なる神に栄光を帰するためです。

ピリピ人への手紙2:6~10

主のしもべの使命

- メシアが、地上で最も低い**しもべ**とされたのは、最も高きところに栄光の姿であげられ、たたえられるため。
- すべての被造物がメシアを主とたたえる時が、神の計画の完成。
→ 主を信じた者は、メシアに仕える**神のしもべ**とされる。

「もはや、のろわれるものは何もない。神と子羊の御座が都の中にあり、**神のしもべ**たちは神に仕え、御顔を仰ぎ見る。また、彼らの額には神の御名が記されている。黙示録22:3~4」

- 新天新地に、神と断絶された者はいない。
すべての者は、神の永遠の所有とされている。

★ 神のしもべとして歩もう ★

- 主のしもべメシアは、私の罪のため、十字架で死んで、葬られた。死を打ち破って復活し、栄光の姿で天に昇られるために。
- 信仰者の苦難は、主の栄光に至る過程。世にあっては、しもべとしての生涯を求められる。完全な神のしもべとなり、主を仰ぎ見、主の栄光に満たされるため。
- 信仰者が、信仰のゆえに、世で讃えられることはない。砕かれつつも、主のみ教えを宣べ伝える、神の僕として歩もう。

神のしもべとして、主イエスの報酬だけを求めて行こう

神のしもべのよろこび

愛する者たち。あなたがたを試みるために あなたがたの間で燃えさかる試練を、何か思いがけないことが起こったかのように、不審に思ってはいけません。

むしろ、キリストの苦難にあずかればあずかるほど、いっそう喜びなさい。キリストの栄光が現れるときにも、歓喜にあふれて喜ぶためです。

もしキリストの名のためにののしられるなら、あなたがたは幸いです。栄光の御霊、すなわち神の御霊が、あなたがたの上にとどまってくださるからです。

ペテロの手紙第一4:12~14

てん とう
「天のお父さま。わたしの^{つみ}罪をゆるしてください

わたしは、神の^{かみ}み^こ子イエス・キリストが、

①わたしの^{つみ}罪^{あがな}を^{じゅうじか}贖^しう^しのために十字架で死に、

②^{はか}墓^{ほうむ}に^{はか}葬^{ほうむ}られ、

③^{みっかめ}三日^{ふっかつ}目に^{しん}復活^{しん}した^{しん}こと、を^{しん}信^{しん}じます。

^{しゅ}主^{しゅ}イエスが、^{しゅ}主^{わたし}の^{すく}しも^{すく}べ^{すく}となられ、^{わたし}私^{すく}を^{すく}救^{すく}って^{すく}くださ^{すく}い^{すく}ました。

^{わたし}私も、^{かみ}神^{しゅ}の^{しゅ}しも^{あゆ}べ^{もの}として、^{しゅ}主^{したが}に^{あゆ}従^{もの}い^{あゆ}歩^{もの}む^{もの}者^{もの}として^{もの}くださ^{もの}い。

^{ちじょう}地上^{くなん}の^{よろこ}苦^{しんこう}難^{あた}を、^{よろこ}喜^{しんこう}び^{あた}と^{あた}する^{あた}こと^{あた}が^{あた}でき^{あた}る^{あた}信^{あた}仰^{あた}を^{あた}与^{あた}え^{あた}て^{あた}くださ^{あた}い。

^き来^{えいこう}たる^{やくそく}べき^{わたし}栄^{いま}光^いの^{ちから}約^{ちから}束^{ちから}を、^{わたし}私^{いま}の^い今^{ちから}を^{ちから}生^{ちから}きる^{ちから}力^{ちから}として^{ちから}くださ^{ちから}い。

^{しゅ}主^なイエス・キリスト^{いの}のみ^{いの}名^{いの}によ^{いの}って^{いの}祈^{いの}ります。 アーメン」